

とおのを掘る

これまで発掘調査された市内の主な遺跡を紹介します。
今回は、旧石器時代から縄文時代前期まで発掘調査によって明らかになった遠野の歴史の一面をぜひご覧ください。



いろは写真撮影

【市指定史跡金取遺跡】遠野市宮守町達曾部

国道396号沿いの小高い丘の上にある日本でも最古級の遺跡です。今から約3.5～9万年前の地層から石器と多くの木炭片が出土しました。石器は大型で重く粗い加工のものと小さくて細かい加工をしたものがあります。第Ⅳ文化層の遺物は古達曾部湖の水辺でキャンプを張った旧人段階の人々が残したものです。



【権現前遺跡】遠野市青笹町糠前飛鳥田

青笹町飛鳥田集落にある旧石器時代から縄文時代前期の遺跡です。県営圃場整備の際に県埋蔵文化財センターにより調査されました。遺跡からは旧石器時代の道具であるナイフ形石器、縄文時代草創期の打製石斧、縄文時代早期末葉及び前期前葉の集落跡が発見されました。



【駒木遺跡】遠野市松崎町駒木

旧駒木小学校周辺、やや小高い段丘面となっており、旧石器をはじめ、縄文時代早期の石器や土器片が散布しています。高圧送電線の鉄塔建て替えの際に発掘調査を実施し、縄文時代早期前葉の押型文土器や多数の石器を発掘しました。



【沢遺跡】遠野市宮守町上宮守

上宮守沢に存在する旧村道の改修の際に発掘調査されました。その結果、縄文時代の土坑等が検出されたほか、縄文時代早期中葉の貝殻沈線文系の土器(貝殻により文様が施された土器)が発掘されました。

初公開！乞うご期待！



【九重沢遺跡】遠野市遠野町九重沢

遠野第二ダム建設に先立ち発掘調査され、出土した土器は、貝殻沈線文系土器、縄文・縄文系土器、羽状縄文系土器、円筒下層式土器、大木式土器が見られます。この遺跡から、縄文早期及び前期前葉の遠野は、各々の文化圏との交流の最前線の地となっていたことが分かりました。6月中旬頃に岩手県から譲与を受け次第展示します。



いろは写真撮影

【国指定史跡綾織新田遺跡】遠野市綾織町新田

綾織町の水田地帯を見下ろす小高い丘の上に営まれた縄文前期前葉から中葉の環状に配置した大型住居により構成された集落遺跡です。縄文時代の大型住居跡の環状集落として最も古く位置付けられ、縄文時代の集落の発達の状況を示す重要な遺跡として国史跡に指定されています。玦状耳飾、異形石器、石棒など特異な遺物が多数発掘されています。